

福島と茨城の人と人 心と心をつなぐ

## ふうあいおたより

2024  
vol. 41

～東日本大震災13年特別企画～

「ふくしまを未来につなぎ、伝え続けよう」

東日本大震災から13年目を迎え、ふうあいねっとでは震災特別企画として「ふくしまのみなさん 作品展」を、茨城県内2か所で開催しました。

福島のみなさんが仲間と集いながら、あるいは一人の時間を見つけて、それぞれの思いを形にした手芸(布小物、壁飾り、編み物etc.)、書道、写真、絵画、ドライフラワーなど、114点の個性あふれる素晴らしい作品が集まりました。また、それぞれの作品には思いを綴ったメッセージも併せて展示しました。会場では福島の写真のスライドショーを行い、来場いただいた方々の交流の場にもなりました。

3/2(土)・3(日)

土浦市民ギャラリー(土浦市)



五十嵐立青つくば市長(右から3人目)

福島から県南地域に避難している24名の方々から、銅板彫刻や裂織のほか、57作品が集まりました。作品の感想に花が咲き、スライドショーで馴染みの場所や風景を見ながら語りあい、10数年ぶりに再会を果たした方もいました。また、足を運んでくださった地域の方も多く、作品に魅了されている様子でした。

3日には五十嵐つくば市長が来場され、福島から移り住んだ方々へ「こちらでの生活はいかがですか」「困りごとはありませんか」と声かけする場面もありました。

3/10(日)・11(月)

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(水戸市)

水戸会場では、24名の方々から57作品が集まり、トーク交流会を行いました。

10日は、今福さん(浪江町出身)、田中さん(浪江町出身)、青木さん(大熊町出身)11日は、吉田さん(浪江町出身)、小野田さん(双葉町出身)から、作品をつくろうと思ったきっかけや作品への思いなどをうかがいました。

登壇してくださった今福さんは、「ボタニカルアートに興味を持ってくれた人がいれば、教室を開いて、絵を描く仲間づくりができればいいなと思っています」と話してくれました。



## 来場のみなさんからのメッセージ

- 震災後まもなく13年を迎えるというなかで、茨城に根を下ろした福島のみなさんの笑顔を観かせてもらった気がしました。
- 被災された方々ご自身が、こんなに前を向いて生活されていることに、元気をたくさんいただくことができた自分に驚いています。
- みなさんの作品が素敵でしたし、メッセージを読みながら3.11のこと、忘れてはいけないとつくづく感じました。
- 何年経っても消えない震災の恐怖やふるさとへの思いは忘れることはないと思います。そんな中で趣味を通して心の癒しの場所を作れたことは素敵だなと思いました。





### ノマトンズ

昨年、新たに生まれたノマトンズ。南相馬が大好きでここ茨城にいる同郷の人たちとつながりたいという思いでできたグループです。

はじめ訪れたのは石岡のフラワーパーク。ドライフラワーを袋に詰め自分好みのサシェ作りは、とても癒されますね。次は真壁のひなまつり

へ。雛人形であふれる町並み、どこか懐かしい風景に話はずみ、「向こうは土地も肥えていたし井戸水を使った農作物はとっても美味しかった!」「そういえばあそこのメンチカツやっているかなあ」と地元トークに花が咲き、まるで地元に戻ったような雰囲気です。方言で地元の話をする存分楽しめるノマトンズ!今後の新たなつながりに期待です。



### パズル

「子育てをしているお母さんにもゆっくり映画を見てもらいたい」という思いで、浪江町出身のお母さんが立ち上げたグループです。ひたちなか市の「ふぁみりこらぼ」で、2月に少人数での映画鑑賞会を開催しました。

母娘の深い絆を描いた作品で、たくさん笑って、そしてラストシーンの頃にはみんな、涙でぐしょぐしょでした。実話をもとにつくられた映画だったので、子育て中のお母さんや、子育てを終えたお母さんにも共感してもらえました。

鑑賞後はお茶をしながら、映画の感想や子育ての楽しさ・心配事など、ゆっくりおしゃべりできました。

# 2024 当事者つながる応援プロジェクト

～みなさんの“つながりたい気持ち”を応援します～

今年も募集します!

## こっちゃんコース

助成金額上限10万円(2団体程度)

福島から茨城に来て、同郷の方とおでかけしたり、一緒に体を動かしたり。そんな交流の機会を作っている方の活動を応援します。10名以上で活動しているグループが対象です。福島のみならず、「こっちゃんこー!」

## いゃんべえコース

助成金額上限5万円(4団体程度)

福島から茨城に来て、「新しいことを始めたい(始めたよ)」という方が対象です。趣味や生きがいづくりなど、3名以上の活動であれば、どんなことでも構いません。茨城での新しいつながりづくりを「応援します!」

※両コースとも、メンバーの半数以上が福島の方の団体とします。

### 対象活動

- 1 交流の場を広げる活動
- 2 生活再建に向けて相互に支えあう活動
- 3 自分たちの想いや経験を伝える活動

※上記①～③のいずれかに該当するもの

### 対象経費

講師謝礼、会場使用料など、活動にかかる費用であれば対象経費に制限はありません。

※申請日以前の活動経費も、期間内であれば対象とします。

### 助成対象期間

2024年4月～2025年2月末

### 申請期間

第1次申請

2024年7月10日(水)～2024年8月23日(金)

※第1次申請期間に予定数に達しない場合は、随時受け付けます。

### 申請方法

申請を希望する方は、メールまたは電話にて、ふうあいねっと事務局までご連絡ください。その際に、申請に必要な書類等の説明をさせていただきます。

※申請についてのご質問や不明点等は、お気軽に事務局までお問い合わせください。





よろず相談受付中!お気軽にご連絡ください。

相談日:火・水・木曜日(9:00~16:00) TEL.070-3182-4044 Eメール fuai.soudan@gmail.com

## ご存知ですか? 令和6年4月1日から相続登記が義務化されました!

相続によって不動産を取得した人は、取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請をする必要があります。令和6年4月1日以前に発生した相続も対象になります。正当な理由がないのに義務に違反した場合は、10万円以下の過料の適用対象となります。

### 「相続登記とは?」

土地や建物の所有者(登記名義人)が亡くなられたことによって、その土地や建物を相続した方が登記の名義を自分に変更する手続きのことです。

相続しようとしている人も、相続を受けた方も、所有する土地や建物などの資産を見直してみてください。

まずは、問い合わせからはじめてみるのもいいかもしれません。



茨城県司法書士会の電話無料相談

**TEL:029-212-4500**

毎週水曜日PM2:00~4:00

※お電話の際には「無料相談で電話しました」とお伝えください。

福島県司法書士会の相続遺言相談センター

**☎0120-06-5233**

AM9:00~PM4:00(平日のみ)

※相談予約受付番号

### 相続した土地の管理にお困りの方へ

#### 利用しない土地を手放す制度 「相続土地国庫帰属制度」もあります

ただし、国庫帰属には土地の要件がありますので、国庫帰属の承認申請やご相談については、土地の所在地を管轄する法務局・地方局までお問い合わせください。

情報提供:茨城県司法書士会、福島県司法書士会、法務省民事局HP

### 新しい相談員をご紹介します♪

このたび、ふうあいねっとのよろず相談員(事務局長兼務)を務めることになりました木梨と申します。

早く業務に慣れて、皆様の話をいろいろ伺いながら、一緒に考え、共に歩いていけるような活動ができればと考えています。

また、趣味の低山登山により、何とか体力を維持しつつ、仕事を続けていければと思っています。

これからどうぞよろしくお願いたします。(^^)



1年を通して、フードバンク茨城とともに食料品を必要な方へお届けしています。  
ふうあいねっとまで、ご遠慮なくお問い合わせください。



## 茨城県内の避難者受入状況

令和6年5月現在、茨城県内の避難者受入状況は右のようになっています。

※( )の数字は、令和5年5月の調査結果です。

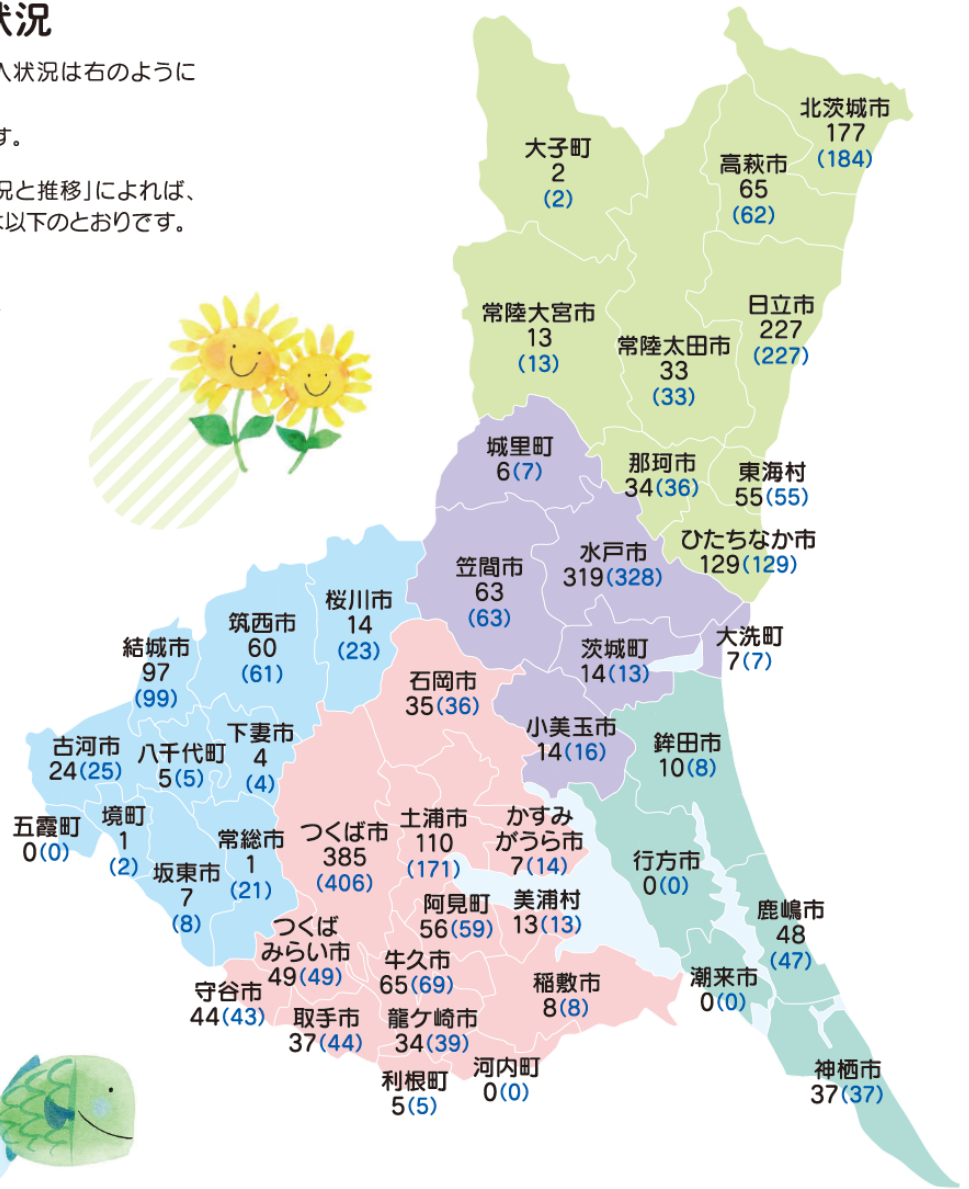
福島県が公表している「県外への避難状況と推移」によれば、福島から県外へ避難されている方の状況は以下のとおりです。

### 福島から県外への避難状況

	2024年2月	2024年5月
1.茨城県	2,322人	2,314人
2.東京都	2,250人	
3.埼玉県	2,225人	
4.新潟県	1,822人	
5.千葉県	1,271人	

※復興庁「全国の避難者数」調査のうち福島県分を抽出

また、同上の調査によると、令和6年2月1日現在、全国への県外避難者数は、福島県から20,279人、宮城県から889人、岩手県から545人となっています。



### ご紹介

福島県避難地域復興局  
避難者支援課(茨城県担当)

さいとう つかさ  
齋藤 司さん

初めまして。令和6年度から茨城県の担当となりました。何卒よろしくお願いいたします。

東日本大震災から13年経過したことや、社会情勢の変化に伴い、避難されている皆様の抱えている課題や問題がますます個別・多様化していると考えております。

一担当として、福島県はもちろん皆様が避難された先の自治体等としっかりと連携し、課題や問題の解決に繋がるようしっかりと取り組んでまいります。



### お世話になりました

この3月末をもちまして、ふうあいねっとを退職いたしました。

2018年6月発行のふうあいおたより23号でご挨拶をしてから6年間、そのうちの3年間は事務局長として、皆さまのお力添えをいただきながら多くの経験をさせていただきました。ふうあいねっとの一員でいられたこの間、私自身とても良い時間を過ごすことができました。お会いした全ての皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

小野田 真澄

### ふうあいねっとは・・・

福島県が全国26か所に設置している生活再建支援拠点(相談窓口)の一つです。福島県から県外に避難されている方が、避難先で必要な情報を入手したり、相談することができます。その他、相談・交流会等も開催しています。

### 開所日が変更になりました

- 開所日：火曜日～金曜日
- 時間：9:00～16:00

土・日・月曜日はお休みとなりますので、お電話や来所の際はご注意ください。(2024年4月1日より)

### 発行・お問い合わせ先

福島県生活再建支援拠点(相談窓口)  
一般社団法人ふうあいねっと  
〒310-0851茨城県水戸市千波町1918  
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(茨城県総合福祉会館)  
TEL.029-241-5803 事務局携帯TEL.070-3182-4044  
Eメールfuai.sta@gmail.com

ふうあいねっと公式LINE始めました!  
お友達登録お願いします♪

